

平成30年度 事務事業見直しの概要

平成31年度当初予算編成に当たり、これまで実施している2,831の事務事業について、以下の視点に基づき総点検を行い、全体で576の事務事業を見直し、事業費で約39億円、一般財源で約21億円を削減しました。

○ 事務事業見直しの視点

- ①経済情勢など、環境の変化に伴う事業の必要性からの見直し
- ②補助対象事業の面積、単価、補助率等などの基準の妥当性からの見直し
- ③定例的なイベントの効果性からの見直し
- ④委託対象業務の内容の見直し
- ⑤継続的な負担金の必要性からの見直し
- ⑥印刷物等の縮減など、無駄な経費の点検による見直し
- ⑦その他の見直し

○ 評価の結果

(単位:件、億円)

	件数	事業費	一般財源
廃止	55	6	3
縮減	521	33	18
計	576	39	21